

あまの 四季彩

	R3.6末	R3.7末	前月比
0～14歳	1,156	1,157	1
15～64歳	6,385	6,391	6
65歳～	4,857	4,849	-8
合計	12,398	12,397	-1

地域の防災を祈願

愛宕神社例祭 マンドリ神事

7月24日、網野神社で愛宕神社例祭が行われました。境内の北側、愛宕山という小高い山の頂に地域の防火・防災を見守る愛宕神社が鎮座しています。毎年7月24日にこの愛宕神社の御祭神である「火産霊神(ほむすびのかみ)」への感謝と地域の防火・防災を祈願し、麦わらを束ね、火をつけて神前で振り回す「マンドリ神事」が執り行われます。

もともと半世紀近く途絶えていたこのマンドリ神事は、網野神社の西川宮司と地元住民で結成したマンドリ保存会のみなさんが中心となり平成25年に復活し、試行錯誤を繰り返しながら続けてきました。

昨年は中止となり、2年ぶりに執り行われた今年は、参列を関係者のみにするなど、制約が多い中での神事となりましたが、来年こそは賑やかな愛宕神社例祭を迎えられよう、神社では伝統を守っていきます。



丹後の火よ届け

東京2020パラリンピック 京丹後市 採火式

8月24日に開幕した東京2020パラリンピック。今回大会の聖火は、「Share Your Light あなたは、きっと、誰かの光だ。」をコンセプトとし、イギリスのストーク・マンデビルと日本各地で採火された種火が一つに集められ、聖火台に点火されました。

京丹後市では、8月16日に「浜詰 夕日の丘」にて、採火式が行われ、市内22箇所の福祉事業所の利用者の皆さんが共生社会やパラリンピックへの思いを込めて書いた計123枚の「願い」の紙へ着火し採火を行いました。



参加された方々で記念撮影



「願い」の紙から採火する中山泰市長

地域の皆さんへエールを!

2021 浜詰夕日ヶ浦納涼花火大会



8月15日、浜詰夕日ヶ浦海水浴場にて、2021夕日ヶ浦納涼花火大会が開催されました。

「Let's smile 今こそ笑顔で乗り越えよう」をテーマに地元地域を中心とした約200事業者からの協賛や地元市民からの寄付により、約1000発の花火が夜空に打ちあがりました。

主催した夕日ヶ浦花火大会実行委員会の西途潤実行委員長は、「コロナウイルス感染症が流行して一年以上経過した今でも、我慢を強いられる地元の方々へ向けて、みんなで一緒に乗り越えていきましょうとエールを送る気持ちで、今年も花火大会を開催しました。」と話していました。

浅茂川区 水無月祭



遷座式の様子



八丁浜での清祓い

7月30日、浅茂川地区で水無月祭が執り行われました。今年は神輿の巡行と海上渡御、夜の花火大会は中止となりましたが、日中、水無月神社にて、浅茂川区の各区長、神輿連など関係者のみが参加して、神社の本堂から神輿に御神体を移す「遷座式(せんざしき)」の神事が執り行われ、その後、日吉橋、八丁浜の順に清祓いが行われました。

浅茂川区野村政伸区長は、「今年も感染防止のため、本来の形の水無月祭ではありませんが、2年ぶりに境内に神輿を置かせていただきました。巡行はできませんが、参拝される住民の方々に神輿をみてもらうとともに、高台に鎮座するこの神社から、神輿に乗った神様が浅茂川の町や人々を見守っていただけたと思います。」と話されていました。